

# あ い さ つ

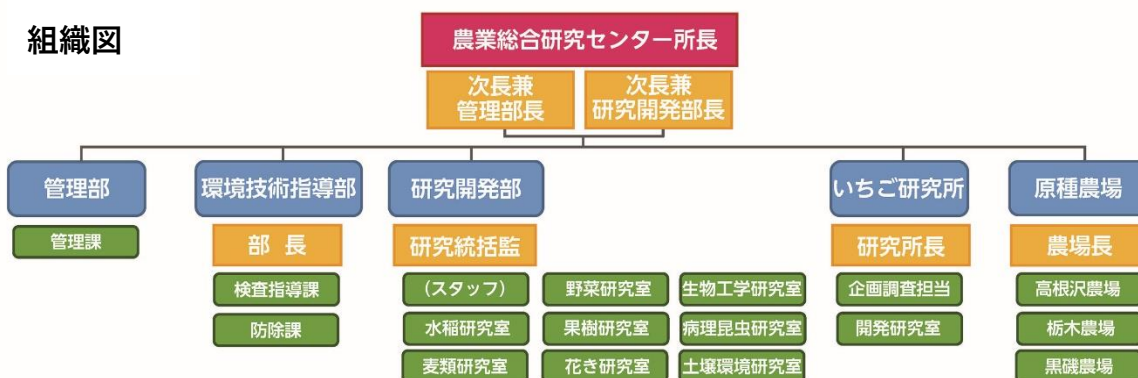
令和8年4月1日から所長に就任しました。農研センターには入庁時に配属されて以来の復帰となりますが、本県農業の発展に向けて精一杯努力して参りたいと思います。

農研センターでは、「農業やるなら栃木県」の実現を牽引出来るよう、気候変動や情勢変化への適応に加え、スマート農業を見据えた新品種や新技術の開発を進めて参ります。また、新たな品種や技術を生産現場にいち早く届けられるよう、業務全般のデジタル化による効率化を進めていき、研究開発のさらなる加速化を図って参ります。

研究開発から普及まで生産現場と共に取り組んで参りますので、今後とも、よろしくお願いいたします。



農業総合研究センター  
所長 蓬田 武



## 令和8（2026）年度の農業総合研究センターの運営方針

### 気候変動、情勢変化に適応した新品種・新技術を開発します

- 1 生産者・消費者ニーズに対応した本件オリジナル品種の開発**  
多様な需要に応じたオリジナル品種の開発、DNA マーカーの活用等による品種開発の加速化を図ります。
- 2 気候変動に伴う栽培環境変化への適応、スマート農業を基本とした生産技術の開発**  
気候変動、スマート農機への対応、とちぎグリーン農業や園芸大国とちぎの実現に資する技術を開発し、生産性・収益性を向上させます。
- 3 県産農産物の安定生産と安心を支える検査・指導等**  
安全な農作物生産の基礎となる肥料・資料・農薬に関する法令に基づく検査・指導、病害虫の発生予察を実施します。
- 4 人材育成とデジタル基盤の強化による組織力向上**  
研究員の自己研鑽支援とデジタル技術の導入により、研究開発の高度化・効率化を図ります。
- 5 原種安定生産体制の整備**  
高品質な原種生産体制の整備を進めるとともに、技術継承を通じて若手技術員を育成します。